

フロンティア漁場整備事業（対馬海峡地区整備の概要）

～排他的経済水域内での水産資源回復の推進～

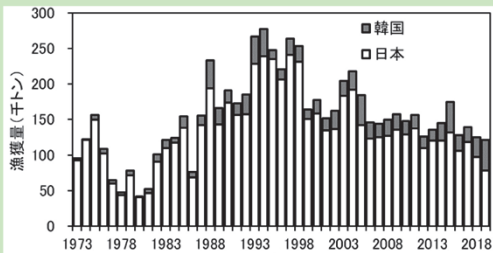
現状と問題点

・マアジ・マサバ・マイワシは、我が国の海面漁業生産量の約30%を占める重要な魚種

・しかしながら、対馬暖流域の漁獲量が減少傾向

・将来にわたる安定的な漁業活動、これを通じた水産物の安定供給の確保が出来なくなる恐れ

対馬暖流系群のマアジの漁獲量の推移



事業内容

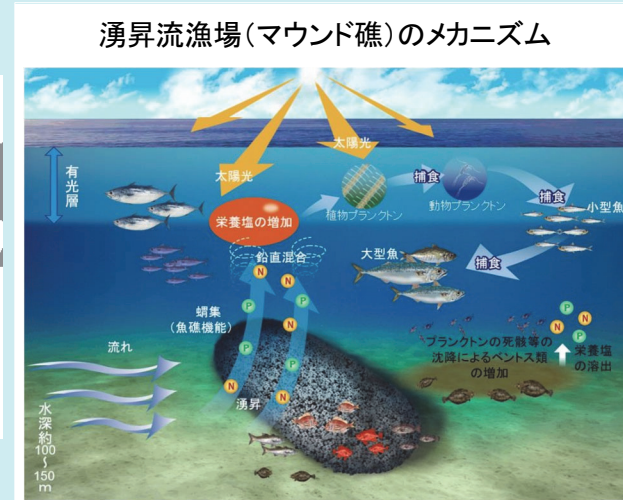
対馬暖流域のマアジ等の資源増大を図るため、新たに対馬海峡において、国による海域の基礎生産力を向上させるための漁場整備を実施する。

○事業主体：国

○事業期間：H29～R9

○総事業費：7,155百万円

○計画規模：湧昇流漁場1基



事業効果

・マアジ・マサバ・マイワシ資源の増大

・国民への水産物の安定供給の確保

資源管理指針や資源管理計画による小型魚保護・定時休漁等の取組